

守谷市の行政史と概要

●市の概要

茨城県の南西部に位置する守谷市は、都心から約40km圏内に位置し、東は取手市、西は常総市、北はつくばみらい市に隣接し、南は利根川を挟んで千葉県野田市と柏市に接しています。

東西約7.5km、南北約7.2km、面積35.71km²のまちで、平成14年2月に単独で市制施行し、県南の玄関口として発展してきました。

特に、平成17年には待望の「つくばエクスプレス」が開通し、都心の秋葉原まではわずか32分、つくば駅までは11分で結ばれました。

令和3年12月には、人口が70,000人に到達し、令和4年2月には、市政施行20周年を迎えました。

●守谷の軌跡

昭和30年に守谷町として出発し、平成14年に市制施行し、守谷市となりました。純農村地帯だったまちも、県南地域の中心都市へと発展しました。

昭和30年（1955年）

- ・守谷町、高野村、大野村、大井沢村の1町3か村が合併、守谷町が誕生

昭和31年（1956年）

- ・板戸井の鬼怒川に滝下橋開通。板戸井、大木の渡船場を廃止

昭和34年（1959年）

- ・役場が大字守谷字仲町に移転。高野支所を高野出張所に改組

昭和35年（1960年）

- ・大柏、立沢、野木崎の台畑116haの農地集団化（交換分合）事業が完了
- ・南守谷駅開業

昭和36年（1961年）

- ・町内に（株）呉砥石所（クレトイシ）の誘致決定
- ・守谷町立守谷中学校と同大井沢中学校が統合

昭和37年（1962年）

- ・（株）呉砥石所（クレトイシ）東京製造所開設、操業
- ・明星電気（株）の誘致決定
- ・利根川架橋促進協議会を設置
- ・町東南部の発展を図るため、守谷町が進めていた郷州（みずき野）の開発計画を一部買収困難なことから断念。立沢大久保団地の開発を行う。（株）前川製作所誘致決定

昭和38年（1963年）

- ・利根川架橋促進委員会、県に陳情
- ・企業誘致促進奨励措置条例廃止
- ・町立土塔保育所開所

昭和39年（1964年）

- ・第3回町議会議員選挙実施
- ・明星電気（株）守谷工場開設、操業（現：イオンタウン）
- ・第4回町長選挙実施（吉田亀次郎町長）

昭和40年（1965年）

- ・（株）前川製作所立沢工場開設、操業

昭和41年（1966年）

- ・首都圏近郊整備地帯に指定
- ・新高速道路の予定路線（常磐自動車道）定められる

昭和43年（1968年）

- ・第4回町議会議員選挙実施、定数22名に削減
- ・第5回町長選挙実施（会田源一郎町長）

昭和45年（1970年）

- ・守谷町都市計画区域の区分決定。市街化区域と市街化調整区域が定められる

昭和46年（1971年）

- ・北守谷特定土地区画整理事業（常総ニュータウン北守谷）施工区域計画決定
- ・守谷町社会福祉協議会設立

昭和47年（1972年）

- ・守谷町文化財調査委員会発足

昭和48年（1973年）

- ・南守谷特定土地区画整理事業（常総ニュータウン南守谷）施工区域計画決定
- ・都市計画用途地域が決定。面積717ha
- ・常総広域老人福祉センター着工

昭和49年（1974年）

- ・常総広域環境センター操業開始
- ・町の木、町の花、町の鳥を選定

昭和50年（1975年）

- ・白寿荘開設

昭和51年（1976年）

- ・日本住宅公団（現：都市機構）による北守谷特定土地区画整理事業（常総ニュータウン北守谷）認可

昭和52年（1977年）

- ・常総広域消防守谷出張所庁舎竣工

昭和53年（1978年）

- ・ 会田源一郎町長逝去
- ・ 大和田仁町長
- ・ 公営事業守谷町上水道事業発足
- ・ 公共下水道事業工事開始

昭和54年(1979年)

- ・ パークシティ守谷(みずき野)区域を市街化区域編入

昭和55年(1980年)

- ・ 新大利根橋有料道路開通

昭和56年(1981年)

- ・ 常磐自動車道開通(谷田部～柏)

昭和57年(1982年)

- ・ 常総線新守谷駅開設
- ・ 御所ヶ丘小学校開校
- ・ 北守谷団地・みずき野団地入居開始
- ・ 人口2万人達成

昭和60年(1985年)

- ・ 常磐新線が運輸政策審議会で答申(東京駅～守谷町南部)

昭和62年(1987年)

- ・ 守谷町工業団地土地区画整理事業開始

昭和63年(1988年)

- ・ 常総ふれあい道路開通
- ・ 人口3万人達成

平成元年(1989年)

- ・ 国際交流協会発足

平成2年(1990年)

- ・ 第1回青少年海外派遣事業実施
- ・ 役場庁舎移転
- ・ 町制施行100周年記念式典挙行
- ・ ドイツ連邦共和国マインブルク市との国際姉妹都市提携調印

平成4年(1992年)

- ・ 大和田仁町長逝去
- ・ 会田真一町長(町長1992年～2002年、
市長2002年～2016年、6期連続)
- ・ 斎場施設「やすらぎ苑」竣工
- ・ 人口4万人達成

平成5年(1993年)

- ・ アメリカ合衆国コロラド州グリーリー市との国際姉妹都市提携調印
- ・ もりや工業団地竣工(アサヒビール茨城工場等が立地)

- 平成 6 年 (1994 年)
- ・常磐新線起工
- 平成 7 年 (1995 年)
- ・中央図書館開館
 - ・もりや学びの里供用開始
- 平成 10 年 (1998 年)
- ・守谷町ホームページ開設
- 平成 11 年 (1999 年)
- ・高速バス (東京駅～守谷～水海道) 開通
- 平成 12 年 (2000 年)
- ・人口 5 万人達成
- 平成 14 年 (2002 年)
- ・守谷市市制施行
- 平成 15 年 (2003 年)
- ・窓口業務日曜開庁開始
- 平成 17 年 (2005 年)
- ・つくばエクスプレス開業 (つくば～秋葉原)
 - ・都市軸道路開通
 - ・きらめき守谷夢彩都フェスタ開催
- 平成 18 年 (2006 年)
- ・守谷駅周辺一体型土地区画整理事業地内住宅分譲開始
 - ・「守谷市協働のまちづくり推進条例」制定
- 平成 19 年 (2007 年)
- ・メールサービス「メールもりや」開始
 - ・市内各公共施設の有料化 (公民館, 体育館等)
 - ・「守谷市景観計画」及び「守谷市景観法の施行等に関する条例」を制定・施行
- 平成 20 年 (2008 年)
- ・守谷市障がい者福祉センター指定管理者導入
 - ・南守谷児童センター、市民交流プラザ開館 (指定管理者制度導入)
 - ・住みよさランキング 守谷市が全国 1 位
- 平成 21 年 (2009 年)
- ・守谷市男女共同参画推進条例施行
 - ・人口 6 万人達成
- 平成 22 年 (2010 年)
- ・姉妹都市締結 20 周年 マインブルク市
 - ・守谷駅周辺一体型土地区画整理事業換地処分公告
 - ・守谷市次世代育成支援対策後期行動計画スタート
- 平成 23 年 (2011 年)
- ・東日本大震災発生

- ・松並土地区画整理事業起工式

平成24年(2012年)

- ・守谷市市制施行10周年
- ・第二次守谷市総合計画スタート
- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画スタート
- ・守谷小学校校舎竣工
- ・常総環境センター竣工
- ・リブコム住みよいまちづくり国際賞で銀賞受賞

平成25年(2013年)

- ・郷州沼崎線全線開通
- ・姉妹都市締結20周年 グリーリー市

平成26年(2014年)

- ・守谷市市民公益活動助成金交付制度スタート
- ・守谷市屋外広告物条例施行
- ・シティプロモーションマネージャー任用
- ・守谷浄化センター消化ガス発電事業に係る基本協定締結
- ・守谷市内全域への「防犯カメラ」設置
- ・郷州沼崎線全線開通
- ・主婦が幸せに暮らせる街ランキングで8位

平成27年(2015年)

- ・開智望小学校開校
- ・鳥のみち・守谷野鳥の森散策路の遊歩道完成
- ・「20%プレミアム商品券」販売
- ・つくばエクスプレス開業10周年
- ・超高密度気象観測システム「POTEKA」を市内8か所に設置
- ・「親子ふれあいルーム」オープン
- ・姉妹都市締結25周年 マインブルク市

平成28年(2016年)

- ・「ママが活躍する“まち”」プロジェクト開始
- ・ふるさと納税返礼品拡充
- ・藤田菜七子騎手と会田市長の対談
- ・会田市長退任
- ・松丸市長就任
- ・指定暴力団・松葉会の関連施設の土地・建物の引き渡し

平成29年(2017年)

- ・タウンミーティング開催
- ・シティブランド・ランキング-住みよいまち2017- (日経BP総研)で1位
- ・第2期守谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画スタート
- ・「守谷生まれの食品」ロゴマーク決定

- ・「まちづくり協議会」設立の提案
- ・市民生活総合支援アプリ「Morinfo（もりんふお）」導入
- ・ふるさとづくり寄附金額10億円突破（12億円、全国63位/県内3位）

平成30年（2018年）

- ・守谷市民交流館（モリヤガーレ）がオープン
- ・守谷市子育て世代包括支援センターがオープン
- ・守谷市在住のレーシングドライバー山野哲也氏が市長を表敬訪問
- ・第35回守谷市商工まつり開催
- ・守谷市国際交流協会設立30周年式典開催
- ・守谷市シティプロモーション戦略プラン策定（守谷おせっかいプロジェクトスタート）
- ・守谷市オリジナルビール「MORIYA GREEN BEER」完成
- ・北守谷地区まちづくり協議会設立（現在すべての地区に設立）

平成31年（2019年）

（令和元年）

- ・第35回守谷ハーフマラソン
- ・新守谷駅自由通路「きずな橋」開通
- ・学校教育改革プランスタート
- ・デマンド乗合交通導入
- ・いきいき茨城ゆめ国体

令和2年（2020年）

- ・守谷イメージ画完成
- ・守谷中央公民館リニューアルオープン
- ・ドイツ・マインブルク市 姉妹都市締結30周年
- ・モリヤガーレ商品券・いきいきシニア王国商品券
- ・移動スーパー運行スタート
- ・町制施行100周年記念タイムカプセル「タイム君」開封
- ・ふるさとづくり寄附金額20億円突破（25.4億円、全国43位/県内3位）

令和3年（2021年）

- ・藤田菜七子騎手と松丸市長の対談
- ・第1回グリーンインフラ大賞 国土交通大臣賞受賞
- ・ふるさとづくり寄附金額30億円突破（34.7億円、全国31位/県内2位）

令和4年（2022年）

- ・市政施行20周年
- ・第三次守谷市総合計画スタート
- ・第3期守谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画
- ・ブランチパーク守谷オープン
- ・新守谷駅周辺土地地区画整理組合設立準備会発足 地権者組織によ

る検討開始

- ・(仮称) 守谷 SA スマート IC 周辺土地区画整理組合設立準備委員会発足 地権者組織による検討開始
- ・ふるさとづくり寄附金額50億円突破(55.6億円、全国18位/県内2位)
- ・(新) 守谷市立学校給食センター完成

令和 5年(2023年)

- ・市政施行20周年
- ・第三次守谷市総合計画スタート
- ・松ヶ丘六丁目土地購入(仮契約日:令和5年6月5日、契約成立日:令和5年6月16日)
 - *旧アジュール(松ヶ丘六丁目6番3)
 - 〔契約金額 2,137,000,000円(消費税非課税)〕
 - 〔契約相手 大和ハウス工業株式会社 茨城支店〕
 - 〔利活用方法検討中(現在まで30社以上に対して内覧を実施)〕
 - *現ワンダー(松ヶ丘六丁目6番4)
 - 〔契約金額 2,302,000,000円(消費税非課税)〕
 - 〔契約相手 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部〕
 - 〔レクストホールディングス株式会社と賃貸借契約を継続〕
- ・東京ヤクルトスワローズファーム施設に関する基本協定を締結
- ・守谷市イメージキャラクター「こじゅまる」決定
- ・あそびの森もりっ子オープン(守谷市保健センター2階)